女なのか彼女なのかどっちや

しかし、これでも泳げんことはない。
水泳パンツはいて、入ろうとすると、
「はだかで入れ！」と言われて、皆、
「えーえ」っと、息をもらす。
露天風呂だ。

まわりで、若い女のお手伝いさん達やらが、
時々、窓越しで、こっちを、
ニタニタしてのぞいている。

部屋の質素で、それほど、そんなに、
居心地いい様には感じない。
しかし、無理ない事。
谷間のひっそりした、白川の宿屋。

まず、道路が悪いのからして、
この付近は、にぎやかでないのは、すぐわかる。
「先生、よお見つけたなあ、安くて、ええとこや。」
そう言う友達もいる。

なるほど、金との相談か。

すると、贅沢言えなくなり、僕の見る目も変わった。
安いと聞いて、すべてが、古くと、おもむきある、
くつろげる、いなかの、静かな宿に思えて来た。

僕も、年取って、老夫婦二人で、
のんびりと温泉旅行するのには、
ここは、最適な場所だと思った。